

## インターバンクの声（2017年2月23日）

ニューヨーク市場の午前中、1月の米中古住宅販売件数が日本時間の午前零時に発表されて間もなく、仏大統領選で中道の大物バイル氏が立候補を取りやめて、マクロン氏の支持に回ると表明したこともあって、112円台後半から反転していた円相場は113円40銭前後までさらに円売りが進んだ。

この動きを確認した辺りで眠りについたような方々にしてみれば、今朝起きて再び113円ちょうど近くまで円が買い戻されているのを見て驚いた人も多いはずだ。

FOMC議事録公開では、全体的には早期の金利引き上げが適切との内容だが、例によって3月の会合までの経済指標も大事になるとの発言もあった。

今日はドルの上値が重くなりそうだと思っていたが、今度はムニューチン米財務長官がウォール・ストリート紙とのインタビューで「強いドルは米経済の自信への裏返しである」と述べたことが伝わり、ドルが113円台中盤近くまで買い戻されている。

112円台ではドル買い、114円台ではドル売りといったところか。

---

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。